

空手

NETWORK

カラテ・ネットワーク

2006
3/15 WED.
No.12

発行/山形県空手道連盟
制作/山形県空手道連盟普及部

山形県空手道連盟が誕生して40周年を迎え、新たな一歩を踏み出すべくこの節目の年を関係者が一同に会し盛会に執り行われました。

式典においては、飛鳥宗一郎会長の式辞があり、引き続きご来賓として、高橋和雄名誉会長、鹿野道彦顧問より「今後も素晴らしい空手道の普及発展に関係各位がますます尽力されるよう」との期待を込めたご挨拶を頂きました。

会長式辞の要約は次のとおりです。

『思い起こせば、昭和40年11月14日に8団体の代表者により「山形県空手道協会結成総会」が開催され、山形県空手協会が誕生しました。（昭和45年に協会から連盟に改称）この場では、副会長以下の役員が選任されましたが、会長選出には至りませんでした。初代会長の高山四郎氏（故人・当時山形県議会議員）が就任されたのは結成一年後のことでした。以来、第二代会長の板垣清一郎氏、第三代会長の高橋和雄氏の後塵を拝し、第四



ホテルキャッスルにて盛大に開催！

40th
Anniversary

山形県空手道連盟 40周年記念祝典

平成17年11月12日午後6時より

代会長として40周年の節目を迎えられますことは誠に光栄の極みであります。

この間、最大の事業となったことは、平成4年の「べにばな国体」第47回国民体育大会の本県開催でした。空手道競技会唯一となる天皇皇后両陛下のご光臨ご観覧の栄誉に拝し、5種目優勝を含む新記録得点で総合優勝を飾り、協議運営の大成と併せ大きな成果を納め、連盟組織一層の結束強化が図られました。

「べにばな国体」終了後、より機能的な事業遂行を目指した組織改正を行い、平成7年11月には創立30周年記念事業を盛大に実施いたしました。

この度の40周年を機に、これまでの歩みを真摯に顧み、今後の課題解決に向け一丸となって取り組み、更なる躍進と生成発展に向け気概をもって邁進したいものと強く決意しております。

その後、本連盟役員として多年にわたり空手道の普及発展に貢献された12名の方、多年にわたり空手道の普及発展に貢献された5名の方、山形県代表選手として優秀な成績を収められた

9名の方の表彰が行われました。また記念祝賀会においては、懐かしい顔、共に汗を流し切磋琢磨した仲間との再会に、出席者全員が時を忘れて空手談議に親しく杯を酌み交わしました。

表彰状 受賞者（五十首順・敬称略）

本連盟役員として多年にわたり空手道の普及発展に貢献された方（12名）

飛鳥康弘（理事・強化部員）
井上一広（理事・事務局次長）
岩見信弘（理事・普及部員）
大江恭弘（理事・普及部員）
今野 隆（理事・競技部員）
志田金松（理事）
鈴木喜代美（理事・普及部員）
瀬野利幸（理事・強化部員）
仲野信勝（理事）
長野義信（監事）
平林 章（理事・競技部員）
三宅 隆（理事・競技部員）

多年にわたり空手道の普及発展に貢献された方（5名）

大川幸義（三川支部指導者）
日下部隆一（山形大学拳友会常任理事）
佐藤孝司（荘内空心会指導者）
中澤 洋（顧問・荘内空手道連盟会長）
那須清人（理事・崇武館寒河江指導者）

山形県代表選手として優秀な成績を収められた方（9名）

飛鳥宗一郎（会長）
安達 剛（副理事長・強化部長）
安達善也（山形市役所）
伊藤雅人（崇武館新庄支部）
伊藤希恵（崇武館新庄支部）
開沼研一（自衛隊御殿場）
鈴木 蘭（元南陽高校空手道部員）
梁瀬伸祐（天真学園教員）
横田和浩（理事・強化部員）



▲記念式典には、県連40周年に関わった多くの方々が出席されました。

山形県空手道連盟 40周年によせて



「達成感を求めて」

常任理事
佐藤 英俊
至道館 館長

40周年という長い年月の中で、私が空手道と歩んだ年月は30年になるうとしている。私が空手を始めたころは、組み手一本勝負のルールであり、防具等の着用がない時でした。白帯の頃県大会を見に行き、今で言えば2ポイント先取のルールのもとに諸先輩、諸先生方の巧みな技の攻防に見入り、私も早くそのようになりたいと大いに身震いし、また感動したことを思い出します。

指導の立場となり昨今考えることはよく「心・技・体」と言われておりますが果たして時間的にどのくらいの練習配分になっているのだろうかと考えました。我が道場では、心15〜20%（あいさつ・礼・イメージトレーニング等）、技術160〜70%（基礎練習・応用練習等）、体115〜20%（体力トレーニング）くらいに思えます。「心・技・体」の言葉を考えれば単純に1／3ずつの時間配分が理想的なもので

のだと思えていたのが実際的にはそうでないことに疑問を覚えるのです。技の練習と同時に心も体も鍛えられている面もあるので概に言えないのですが技術面の時間が多いのは事実のようです。

よりよい選手育成にあたっては生活面、社会面においての研鑽も大切なことと思われます。強さへの努力を続けることが優れた「心・技・体」を身につけた人間形成につながる重要なものでもあり、勝利への意欲も大いに大切です。しかし、練習のほとんどを技術・体力向上に傾け、その努力の汗を無に終わらせたくはないのです。

剣豪千葉周作が「剣の奥義は、ついに相打である。」と述べている。「人を殺すことにより相手を殺す迷いのない言葉と思われる。その心構えを求め今後空手道に励んでいきたい。



◀ 県連機関誌「空手ネットワーク」も10年間一緒に歩んできました



「40周年記念式典に参加して」

県連理事 普及部 浅倉 次男
山形県立保健医療大学 空手道部 顧問

「山形県空手道連盟（旧後県連）」と記が誕生して40周年を迎えた。発足は昭和40年。その年は、筆者が大学3年生のときであった。空手道のことが少しずつ分かってきた大学1

年の時からの年数と重なり合うので当時を思うと感慨もひとしおである。それまでは流派ごとの集まりが主流をなし、大会もそれぞれの流派ごとが多かったのである。それが「県連」誕生を境に流派同士の交流の考え方が強まり県全体で全国大会を視野に入れた活動になつていったのである。山形県は比較的他県に比べて早い取り組みだったように思う。

その礎になったのは山形大学空手道部であったことは自明の理であろう。ご存知のように山形大学は本部（山形市）、工学部（米沢市）、農学部（鶴岡市）という蛸足大学である。このことが結果的に県全域に空手が普及する大いなる要因になったのである。学生たちの空手道に励む凛々しい姿を見た少年少女たちに「自分もやってみよう」という意識が芽生え、それぞれの地域の空手道人口を押し上げていったと述べても過言ではないと思うのである。その少年少女たちが見事に開花したのが飛鳥康弘らに代表される平成4年の「へいはな国体」の成

績である。

更に述べさせていただけるなら、昭和40年に小生たちが空手道を志す以前の先輩諸氏の苦難に満ちた創成期があったことは想像に値するところである。そういう意味から、祝賀会当日、飛鳥宗一郎会長の計らいで山形大学拳友会の懐かしい先輩方が出席されたことは祝賀会に花を添えていた意味があったと思う。

また、「県連」40周年を迎えるにあたって忘れてならない人物がいる。その方は「玉井英吉氏」である。彼は昭和30年代の高校（山形東高校定時制）時代から山形大学に出入りして大学生の合宿にも参加した誰もが認める空手の虫であった。その後、同じ和道流の日本大学に進学し副将を務め、山形県人として和道流大学に道筋を開き、私立大学空手道部の後輩を育成したのである。その代表的人物が現在の「県連」を代表する「安達剛」、「深瀬久男」の両名であろう。彼ら両名は述べたまでもなく、この40周年の期間中誰よりも活躍し、今や、全国に名を馳せる心身ともに立派な武道家に成長したのである。また、彼ら両名は「玉井英吉氏」が逝去されたときに、身内のこと以上に献身的に尽力されたことは記憶に新しい

ところである。また、彼らが自らの道場で日々指導している門下生の中から県を代表する選手が次々と育っていることは今回の祝賀会で表彰された人達の顔をみても明らかである。

「県連」40周年記念祝典に参加し感じたことを思いつづき、改めて「空手道」をやるという本心に良かったという実感である。そして、ますますの今後の発展を心から願う次第である。（敬称略）



山形県空手道連盟主要小史 平成8年～平成17年、10年のあゆみ

平成8年

- 2/1 総会 ○県連機関紙「空手ネットワーク」2号発行
○加盟 日本空手道玄制流武徳会天童支部、東北芸術工科大学空手道部
3/9～10 県連特別強化講習会講師：小山正辰氏
8/23～25 第23回東北総合体育大会（村山市民体育館）
9/14～15 県青少年武道錬成大会（県体育館）講師：井上慶身、芦原瑞穂、前田利明の各氏

平成9年

- 1/25～26 第10回東北高校選抜大会（県総合運動公園）
2/16 ○加盟団体 星園館、修道館 ○脱退 拳会
5/17～18 県武道指導者研修会 講師：荒川通、津山捷泰の各氏
9/13～14 県青少年武道錬成大会 講師：井上慶身、藤田幸雄、倉田順子の各氏

平成10年

- 3/21～22 県連指導者講習会 講師：柳田俊介氏・野崎宏氏（11年度まで）
6/14 全国中学生選手権大会山形県予選会開始（山形市総合スポーツセンター）

平成11年

- 2/9 総会 ○競技用具6コート分購入整備（基金取崩70万円） ○県連主催大会の会員登録義務付け
11/5 飛鳥副会長山形県教育功労賞受賞

平成12年

- 2/13 総会 ○休会 米沢支部 ○県ジュニア大会中学生の部に指定形導入
2/19～20 庄内地区審判員講習会・公認段位審査会（鶴岡5中武道館）
4/1～2 県連指導者講習会 講師：柳田俊介氏（13年まで2年間）
4/23 第1回東北中学生選手権大会（仙台市）

平成13年

- 2/4 総会（県スポーツ会館）○休会 川崎電気空手道部、遊佐支部
○県社会人大会(実業団に名称変更) ○ジュニア組手 4年生以上から ○監督腕章着用義務付け
6/10 第1回全国小学生・全国中学生大会山形県予選会実施（天童市スポーツセンター）

平成14年

- 2/10 総会 ○飛鳥宗一郎氏会長就任 ○技術委員会設置（田鎖委員長） ○ジュニア組手3年生以上から
3/16～17 県連指導者講習会 講師：大出敏夫氏（16年度まで3年間）
5/18～19 県連指導者講習会 講師：前田利明氏（16年度まで3年間）
6/16 東北大学総体（東北芸工大）
8/24～25 第29回東北総合体育大会（天童スポーツセンター）
12/14 飛鳥会長文部科学大臣表賞受賞記念祝賀会（ホテルメトロポリタン）

平成15年

- 1/25～26 東北高校選抜大会（山形県総合運動公園）
2/11 県連盟総会 ○連盟規約改正（第19条関係）
4/12 審判員協議会総会（山形市黒沢温泉）
6/1 加盟 余目空友会、山形市役所空手道部
8/23～24 第30回東北総合体育大会（青森県岩木町）

平成16年

- 2/1 総会 ○加盟団体 拳和会館山形県村山支部、日本空手協会鶴岡中央支部、米澤五条空手道クラブ
○脱退 中山町体育協会空手部
○休会 八幡空手部、糸洲会山形支部、玄制流武徳会天童支部
8/28～29 第31回東北総合体育大会（岩手県盛岡市）
9/4～5 県青少年武道錬成大会（県体育館）講師 原口高司、芦原瑞穂、金澤実の各氏

平成17年

- 2/1 総会 ○脱退 日本空手協会寒河江支部 ○全空連会館建設負担金（100万円）支出の承認
○県連表彰規定制定 ・形競技 フラッグ・トーナメント制導入 ○審判員交通費支給開始
3/27～28 県連形指導強化講習会（県総合運動公園）講師：小斎則夫氏
8/27～28 県青少年武道錬成大会（県体育館）講師：柳田俊介、矢澤敏彦、野澤幸洋各氏

山形県地方 青少年空手道錬成大会

空手道の技術向上と相互交流を目的として開催

山形県地方青少年空手道錬成大会
とき／平成17年8月27日(土)・28日(日)
場所／山形県体育館(山形市霞城公園)



柳田俊介氏



野沢幸洋氏



矢澤敏彦氏

山形県内の武道(空手道)に励む小学生・中学生・高校生を一同に集め、武道の正しい理解を得させると共に、技術の向上と相互の交流を図り青少年の健全育成を目標として、青少年武道錬成大会が、平成17年8月27日(土)から28日(日)にかけて、山形市霞城公園にある山形県体育館で開催されました。



この大会は、(財)日本武道館、全国都道府県立武道館協議会、(財)全日本空手道連盟、山形県体育館、山形県空手道連盟が主催するもので、平成16年度に次いで開催されています。



前年度の196名に比し6名増加しました。指導にあたられた講師は、中央講師として、柳田俊介氏(教士7段、全空連評議員、中央技術委員会及び審判委員

参加者は、18団体から小学生(3年生以上)115名、中学生40名、高校生47名、計202名と、

会各委員)、矢澤敏彦氏(教士7段、全空連2級資格審査委員、日体協B級コーチ)、野澤幸洋氏(教士7段、全日本空手道連盟系東会副理事長、技術副本部長、地元講師として、工藤清氏(教士7段、県連理理事長、田鎖光雄氏(公認5段、飛鳥康弘氏(公認5段)、横田和浩氏(公認4段)の7名でありました。



田鎖光雄
山形県空手道連盟 副会長

平成17年度の標記錬成大会は、昨年度に続いて第2回の開催で、去る8月27日(土)・28日(日)の2日間、山形県体育館において実施された。

本年度は、中央講師として、柳田俊介、矢澤敏彦、野澤幸洋の3名の諸先生、そして地元講師4名が担当し、2日間18団体から延べ300名以上の小中高生の参加を得て、基本練習、組手、形(全空連第二指定形)と幅広く、多彩なカリキュラムが濃密に展開された。特に本年度



空手道錬成大会の報告

「心と技」のあり方、第二指定形講習とレベルの高い会となった

山形県空手道連盟 副会長
田鎖光雄

①空手道に取り組むにあたっての「心」の在り方、武道と競技の関連性(心と技、ルール)、オリンピックを含めた国内外の情勢の講話②現在普及が進められている全空連第二指定形の講習の2点を盛り込み、内容としては、かなりハードでレベルの高いものとなった。

一方、参加者は、小学3年生以上から高校3年生までと幅が広く、技術レベルも事前に把握できない為、中央講師の先生方には、ご苦労をお掛けしたことを思います。

第一日目は、午前中に柳田講師の講話に続いて、全学年共通の基本練習を行い、学ばに於ての心構えと技を活かす体の運用の原則について、定置、移動の突き、蹴りを具体的な解説を交えながら指導



いただきました。
同日、午後は、小学3、4年生、小学5、6年生、中学校生、高校生の三クラスに分け、各レベルに合わせた組手の攻撃、防禦の基本と応用について、各中央講師により指導を受けたが、午前の練習を踏まえた体系的指導内容のため、一段と理解が深まったものと感じた。
第二日目は、和道（クーシヤンクー）、松涛（観空小）、糸東（ニパイボ）の各会派の第二指定形を履修し、午後は、各講師より空手道修得の本旨や形練習のポイントなど講話を受け、充実した二日間の錬成会を、県連普及部及び県体育館みなさまのご協力を得て、事故もまもなく終了することができました。

錬成大会に参加して

技を出すときに気合いを大きく出す事が大切！

中学一年 佐野弘明

僕が、錬成大会に参加しようと思ったのは、昨年と同じく空手について、いろいろな体験をしたかったからです。

午前は基本練習を行い、午後はクラス別の組手の練習をしました。基本練習では、特に立ち方に注意しながら、突きと蹴りを、頑張りました。組手の練習は、中学生と高校生が一緒のクラスとなつて、柳田先生と飛鳥先生に指導していただきました。練習では初めて習うことも多かったのですが、先生方には分かりやすく指導していただきました。例えば、二人で向き合つて練習した時、相手を転ばせたり、自分なりの受け返しを考えたり、とても楽しくできました。また、いつも言われているように、技を出す時には気合いを大きく出していくことが大事だと教えていただきました。

僕は、二日間の錬成大会のうち、一日しかこれませんでした。が、学ぶことが多く、いい一日でした。教えていただいた先生方には、感謝しています。教えていただいたことを身に付けて、これからも上手になれるように、努力していきたいと思っています。

錬成大会に参加して

形は姿勢、技の暖急、力の強弱、目付けが大切！

小学6年

深瀬道場 渡部 大輝

ぼくは5年生の時にこの錬成大会に参加し、今年は去年よりも理解できる事が多くあったので楽しかったです。

1日目は基本練習と組手練習でした。どの先生も基本の大切さ・基本をおろそかにしては、形も組手も上手にならない事を教えてくださいました。組手練習は野澤先生に、突き・蹴りを組み合わせた攻撃や突きや蹴りに対する受けを2人1組で向かいあつて教えていただきました。野澤先生は学生のころ手を開いて蹴りを受けて指の骨を折ったそうです。その話を聞いて、ぼくも手を開く事があるのでこれからは手をしっかりとにぎるように気を付けようと思いました。



からは手をしっかりとにぎるように気を付けようと思いました。2日目は第二指定形の「クーシヤンクー」を柳田先生に教えてもらいましたが、道場ではやった事がなかったのでもう少しとまどいましたが、「クーシヤンクー」はピンアンの形の技の応用だと教えていただき、形の意味をいねいに説明してくださつてなるほどと思うところがたくさんありました。又午後からの講義で

矢澤先生から、形は姿勢、技の暖急、力の強弱、目付けが大切でこの事を常に心がけて練習するように言われ、又人前で積極的に演武するようにとも言われました。最後に「空手に先手なし」と言つて形の最初の動作はすべて受けから始まると言われましたが、今まで練習してきて気が付きませんでした。

した。この2日間は7人の先生方にとっても熱心に教えていただきとてもよかったです。でも、もっと先生方から話を聞いたり、他の道場の人とも話をしてみれば良かったかなと思います。また、次の錬成大会にもぜひ参加したいと思っています。



平成17年度 Karate party convention 大会ハイライト



第35回県社会人選手権大会

△山形県空手道連盟40周年記念大会
◎平成17年5月8日(日)
◎山形県武道館

組手団体

①安達道場

②山形県庁B

③山形県庁A

組手個人(35歳以上)

①井上 一広(山形県庁)

②斎藤 天(山形県庁)

③大戸 次男(山形県庁)

組手個人(有段者)

①伊藤 学(よろづライフ⑭)

②丹越 正(クルーフホームみずほ)

③片倉 徹(小関設備)

形女子

①大場 奈津美(やまのへ整形外科)

②大場 朗子(加賀山医院)

③山口 敦子(模型「べっぴん」)

形男子

①佐藤 直記(⑩マックリイト)

②斎藤 天(山形県庁)

③丹越 正(クルーフホームみずほ)

④佐藤 和典(⑭出羽工務所)

第5回全日本少年少女選手権大会

第13回全国中学生選手権大会山形県予選会

◎平成17年6月12日(日)

◎県総合運動公園サファアリーナ

小学生組手(男子)

◎小学1年

①斎藤 述比呂(鶴山二小)

◎小学2年

①岡田 翔平(泉小)

②東海林 直慶(西郷小)

小学3年

①飯塚 銀弥(泉小)

②大河原 順平(小松小)

小学4年

①元木 貴(本合海小)

②国井 健太郎(山形十小)

小学5年

①本間 敬太(鶴岡斎小)

②岡部 陽郎(羽黒第三小)

小学6年

①仙台 充功(本合海小)

②豊後 怜(滝山小)

小学生組手(女子)

小学2年

①国分 桃香(新庄小)

小学3年

①星川 南(浜田小)

②渋谷 千彩希(柴橋小)

小学4年

①小林 未侑(沼田小)

②伊藤 千宏(左沢小)

小学5年

①遠田 ゆかり(大沢小)

②豊後 玲(滝山小)

小学6年

①小林 穂葉(沼田小)

②国分 田香(新庄小)

小学生組手(男子)

小学1年

①渡邊 慎郎(山形南小)

②鈴木 駿士(鶴岡四小)

小学2年

①叶内 史也(日新小)

②伊藤 大和(寒河江小)

小学3年

①石井 友喜(米沢南部小)

②高橋 謙悟(日新小)

小学5年

①増川 亮輔(米沢北部小)

②伊藤 翔太(寒河江小)

小学6年

①伊藤 秀(日新小)

②森山 凌(天童南部小)

小学生組手(女子)

小学2年

①飛鳥 有衣子(山形南小)

小学3年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学4年

①渡部 友香(神町小)

②奥山 陽世里(天童南部小)

小学5年

①榮 ちる(長岡小)

②安孫子 沙希(南沼原小)

小学6年

①坂上 愛(堀内小)

②海老名 祐美(新庄小)

中学生組手

①飯塚 銀弥(泉小)

②鈴木 慶(山形西小)

③佐藤 和輝(南沼原小)

④金子 裕哉(米沢下郷小)

組手(小学生男子4年)

①佐藤 一成(朝陽小)

②田沢 正樹(朝陽二小)

③廣飯 大志(新庄小)

④井上 翔太(山形四小)

組手(小学生男子5年)

①土田 秀太(沼田小)

②増川 亮輔(米沢北部小)

③鈴木 悠起(山形七小)

④杉山 幸佑(山形七小)

⑤本間 敬太(鶴岡斎小)

組手(小学生男子6年)

①仙台 充功(本合海小)

②豊後 玲(滝山小)

③叶内 史也(日新小)

④伊藤 大和(寒河江小)

⑤岡田 翔平(泉小)

⑥東海林 直慶(西郷小)

⑦佐藤 和典(⑭出羽工務所)

⑧斎藤 天(山形県庁)

⑨大戸 次男(山形県庁)

⑩伊藤 学(よろづライフ⑭)

⑪丹越 正(クルーフホームみずほ)

⑫片倉 徹(小関設備)

⑬大場 奈津美(やまのへ整形外科)

⑭大場 朗子(加賀山医院)

⑮山口 敦子(模型「べっぴん」)

⑯佐藤 直記(⑩マックリイト)

⑰斎藤 天(山形県庁)

⑱丹越 正(クルーフホームみずほ)

⑲佐藤 和典(⑭出羽工務所)

⑳伊藤 学(よろづライフ⑭)

㉑丹越 正(クルーフホームみずほ)

㉒片倉 徹(小関設備)

㉓大場 奈津美(やまのへ整形外科)

㉔大場 朗子(加賀山医院)

㉕山口 敦子(模型「べっぴん」)

㉖佐藤 直記(⑩マックリイト)

㉗斎藤 天(山形県庁)

小学3年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学5年

①飛鳥 有衣子(山形南小)

小学6年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学生組手(男子)

小学2年

①飛鳥 有衣子(山形南小)

小学3年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学4年

①渡部 友香(神町小)

②奥山 陽世里(天童南部小)

小学5年

①榮 ちる(長岡小)

②安孫子 沙希(南沼原小)

小学6年

①坂上 愛(堀内小)

②海老名 祐美(新庄小)

中学生組手

①飯塚 銀弥(泉小)

②鈴木 慶(山形西小)

③佐藤 和輝(南沼原小)

④金子 裕哉(米沢下郷小)

組手(小学生男子4年)

①佐藤 一成(朝陽小)

②田沢 正樹(朝陽二小)

③廣飯 大志(新庄小)

④井上 翔太(山形四小)

組手(小学生男子5年)

①土田 秀太(沼田小)

②増川 亮輔(米沢北部小)

③鈴木 悠起(山形七小)

④杉山 幸佑(山形七小)

⑤本間 敬太(鶴岡斎小)

組手(小学生男子6年)

①仙台 充功(本合海小)

②豊後 玲(滝山小)

③叶内 史也(日新小)

④伊藤 大和(寒河江小)

⑤岡田 翔平(泉小)

⑥東海林 直慶(西郷小)

⑦佐藤 和典(⑭出羽工務所)

⑧斎藤 天(山形県庁)

⑨大戸 次男(山形県庁)

⑩伊藤 学(よろづライフ⑭)

⑪丹越 正(クルーフホームみずほ)

⑫片倉 徹(小関設備)

⑬大場 奈津美(やまのへ整形外科)

⑭大場 朗子(加賀山医院)

⑮山口 敦子(模型「べっぴん」)

⑯佐藤 直記(⑩マックリイト)

⑰斎藤 天(山形県庁)

⑱丹越 正(クルーフホームみずほ)

⑲佐藤 和典(⑭出羽工務所)

⑳伊藤 学(よろづライフ⑭)

㉑丹越 正(クルーフホームみずほ)

㉒片倉 徹(小関設備)

㉓大場 奈津美(やまのへ整形外科)

㉔大場 朗子(加賀山医院)

㉕山口 敦子(模型「べっぴん」)

㉖佐藤 直記(⑩マックリイト)

㉗斎藤 天(山形県庁)

小学3年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学5年

①飛鳥 有衣子(山形南小)

小学6年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学生組手(男子)

小学2年

①飛鳥 有衣子(山形南小)

小学3年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学4年

①渡部 友香(神町小)

②奥山 陽世里(天童南部小)

小学5年

①榮 ちる(長岡小)

②安孫子 沙希(南沼原小)

小学6年

①坂上 愛(堀内小)

②海老名 祐美(新庄小)

中学生組手

①飯塚 銀弥(泉小)

②鈴木 慶(山形西小)

③佐藤 和輝(南沼原小)

④金子 裕哉(米沢下郷小)

組手(小学生男子4年)

①佐藤 一成(朝陽小)

②田沢 正樹(朝陽二小)

③廣飯 大志(新庄小)

④井上 翔太(山形四小)

組手(小学生男子5年)

①土田 秀太(沼田小)

②増川 亮輔(米沢北部小)

③鈴木 悠起(山形七小)

④杉山 幸佑(山形七小)

⑤本間 敬太(鶴岡斎小)

組手(小学生男子6年)

①仙台 充功(本合海小)

②豊後 玲(滝山小)

③叶内 史也(日新小)

④伊藤 大和(寒河江小)

⑤岡田 翔平(泉小)

⑥東海林 直慶(西郷小)

⑦佐藤 和典(⑭出羽工務所)

⑧斎藤 天(山形県庁)

⑨大戸 次男(山形県庁)

⑩伊藤 学(よろづライフ⑭)

⑪丹越 正(クルーフホームみずほ)

⑫片倉 徹(小関設備)

⑬大場 奈津美(やまのへ整形外科)

⑭大場 朗子(加賀山医院)

⑮山口 敦子(模型「べっぴん」)

⑯佐藤 直記(⑩マックリイト)

⑰斎藤 天(山形県庁)

⑱丹越 正(クルーフホームみずほ)

⑲佐藤 和典(⑭出羽工務所)

⑳伊藤 学(よろづライフ⑭)

㉑丹越 正(クルーフホームみずほ)

㉒片倉 徹(小関設備)

㉓大場 奈津美(やまのへ整形外科)

㉔大場 朗子(加賀山医院)

㉕山口 敦子(模型「べっぴん」)

㉖佐藤 直記(⑩マックリイト)

㉗斎藤 天(山形県庁)

小学3年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学5年

①飛鳥 有衣子(山形南小)

小学6年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学生組手(男子)

小学2年

①飛鳥 有衣子(山形南小)

小学3年

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学4年

①渡部 友香(神町小)

②奥山 陽世里(天童南部小)

小学5年

①榮 ちる(長岡小)

②安孫子 沙希(南沼原小)

小学6年

①坂上 愛(堀内小)

②海老名 祐美(新庄小)

中学生組手

①飯塚 銀弥(泉小)

②鈴木 慶(山形西小)

③佐藤 和輝(南沼原小)

④金子 裕哉(米沢下郷小)

組手(小学生男子4年)

①佐藤 一成(朝陽小)

②田沢 正樹(朝陽二小)

③廣飯 大志(新庄小)

④井上 翔太(山形四小)

組手(小学生男子5年)

①土田 秀太(沼田小)

②増川 亮輔(米沢北部小)

③鈴木 悠起(山形七小)

④杉山 幸佑(山形七小)

⑤本間 敬太(鶴岡斎小)

組手(小学生男子6年)

①仙台 充功(本合海小)

②豊後 玲(滝山小)

③叶内 史也(日新小)

④伊藤 大和(寒河江小)

⑤岡田 翔平(泉小)

⑥東海林 直慶(西郷小)

第60回国体・第32回東北総体予選会
◎平成17年7月17日

- 第60回団体 第32回東北総体予選会
◎平成17年7月17日
- ◎平成17年9月3日(土) 4日
◎秋田県泉湯町民体育館
- ◎少年少女個人組手
三位 渋谷 紗希(南陽高)
- ◎少年男子個人組手
一位 渡邊 愛志(東海大山形)
- ◎成年女子個人組手
一位 関東 里佳(日本体育大)
- ◎成年男子個人組手
- ◎少年女子組手
①渋谷 紗希(南陽高)
②大沼 智里(天童高)
③飯澤 弥生(南陽高)
- ◎成年女子組手
①関東 里佳(日本体育大)
②佐藤 萌(山形厚生専門学校)
③猪狩 早苗(山形大)
- ◎少年男子組手
①中村 亮太(東海大山形高)
②渡邊 愛志(東海大山形高)
③佐藤 義則(酒田南高)
- ◎成年男子組手(軽量級)
仲祐(天真学園教諭)
②高橋 伸裕(東洋大)
③渡部 恒禎(日本大)
- ◎成年男子組手(中量級)
①安達 善也(山形市役所)
②伊藤 翔(東京農業大学)
③今野 雄太(日本大)
- ◎成年男子組手(重量級)
①山科 大介(東洋大学)
②緑川 寿幸(不二業)
③堀井 皓太(国士舘大)
- ◎少年女子形
- ◎成年女子形
①伊藤 渚(天童高)
②佐藤 瑞紀(酒田南高)
③大沼 智里(天童高)
- ◎少年男子形
- ◎成年男子形
①大場 奈津美(やまのへ整形外科)
②大場 朗子(加賀山医院)
③佐藤 萌(山形厚生専門学校)
- ◎少年男子組手
①加藤 葵(酒田南高)
②大場 洸志(東海大山形高)
③中村 仁(天童高)
- ◎成年男子組手
①柴田 拓也(御殿場自衛隊)
②阿部 睦(アヒロード)
③佐藤 直紀(マンクワイエト)
- 第32回東北総体空手道競技
◎平成17年9月3日(土) 4日
◎秋田県泉湯町民体育館
- ◎少年少女個人組手
三位 渋谷 紗希(南陽高)
- ◎少年男子個人組手
一位 渡邊 愛志(東海大山形)
- ◎成年女子個人組手
一位 関東 里佳(日本体育大)
- ◎成年男子個人組手

平成7年9月1日

- 二位 高橋 吉将(東洋大学)
 ▼成年男子個人組手
 三位 安達 善也(山形市役所)
 ▼少年男子組
 二位 加藤 葵(酒田南高)
 ▼成年女子組
 二位 大場 奈津美(やまのべ整形外科)
 ▼少年女子団体組手
 三位 山形
 ▼成年男子団体組手
 三位 山形
 ▼成年女子団体組手
 三位 山形
 第38回県空手道選手権大会
 ◎平成17年9月11日
 ◎新庄市体育館
 ▼高校生男子個人形
 ①加藤 葵(酒田南高)
 ②大場 洸志(東海大山形高)
 ③後藤 竜士(東海大山形高)
 ④吉永 太郎(酒田南高)
 ▼一般男子個人形
 ①林 健太郎(崇武館本部)
 ②東海林 正邦(崇武館本部)
 ③佐々木 大(米澤五条空手)
 ④林崎 朋義(米澤五条空手)
 ▼一般・高校女子個人形
 ①大場 奈津美(やまのべ整形外科)
 ②伊藤 渚(天童高校)
 ③佐藤 瑞紀(酒田南高)
 ④大沼 智里(天童高校)
 ▼高校男子個人組手
 ①渡邊 愛士(東海大山形高)
 ②後藤 竜士(東海大山形高)
 ③中村 亮太(東海大山形高)
 ④原田 昇平(天童高)
 ▼一般男子個人有段者Aの部組手
 ①安達 善也(山形市役所)
 ②桑瀬 仲祐(天真学園)
 ③渡部 恒祺(日本大学)
 ④高橋 吉将(東洋大学)
 ▼一般男子個人有段者Bの部組手
 ①佐々木 大(米澤五条館空手)
 ②兼子 庸平(鶴岡支部)
 ③林崎 朋義(米澤五条館)
 ④鈴木 健司(米澤五条館)
 ▼一般男子個人有級の部組手
 ①池田 将(山形大学)
 ②高田 浩明(崇武館本部)
 ③姫野 泰輝(山形大学)
 ④早川 大樹(鶴岡支部)
 ▼一般女子・高校女子個人組手
 ①関東 里佳(日本体育大)
 ②渋谷 紗季(南陽高)
 ③大沼 智里(天童高)
 ④宮野 眞友(天童高)
 ▼一般男子団体組手

▼高校女子団体組手

- ①大暲高
- ③山形工業高
- ②酒田南高
- ③大暲高
- ③米澤五冬空手クラブ
- ▼高校男子組手
- ①東海大山形高
- ②酒田南高
- ③大暲高
- ③山形工業高
- ①大暲高
- ③米澤五冬空手クラブ
- ▼高校男子組手
- ①東海大山形高
- ②酒田南高
- ③大暲高
- ③山形工業高
- ①大暲高
- ③米澤五冬空手クラブ

- 県少年少女スポーツ交流大会
空手道競技
◎平成17年10月2日
◎天童高校体育館
- ▼男子総合
- ① ②
- ① 女子総合
- ② ①
- ▼女子総合
- ① ②
- ① 女子個人形
- ② 横田 優奈(崇武館)
- ③ 安孫子 紗希(崇武館)
- ③ 海老名 裕美(新庄市)
- ▼男子個人形
- ① 伊藤 秀(新庄市)
- ② 佐藤 龍也(余目)
- ③ 森谷 翔(天童市)
- ③ 小野 最司(天童市)
- ▼女子団体形
- ① 新庄市スポーツ少年団
- ② 米沢市スポーツ少年団
- ③ 大江町スポーツ少年団
- ③ 余目スポーツ少年団
- ▼男子団体形
- ① 天童市スポーツ少年団
- ② 新庄市スポーツ少年団A
- ③ 空心会スポーツ少年団
- ③ 新庄市スポーツ少年団B
- ▼4年生女子組手
- ① 小林 未侑(新庄市)
- ② 武田 莉奈 鈴木(深瀬道場)
- ③ 伊藤 千宏(寒河江)
- ③ 後藤 真美(八幡町)
- ▼5・6年生女子組手
- ① 国分 田香(新庄市)
- ② 小林 瑞葉(新庄市)
- ③ 神野 穂穂(川西町)
- ③ 遠田 ゆかり(八幡町)
- ▼4年生男子組手
- ① 田沢 大志(新庄市)
- ② 元木 貴(新庄市)
- ③ 国井 健太郎(安達道場)
- ③ 吉田 匠治(南陽市)
- ▼5年生男子組手
- ① 土田 秀治(新庄市)
- ② 小山 洋夢(安達道場)

形熊技
 ●伊藤 正義(尾花沢市園館)
 ●鈴木 優士(米沢市)
 ▼6年生男子組手
 ①叶内 奨也(新庄市)
 ②仙台 充功(新庄市)
 ③瀬野 大将(安達道場)
 ④豊後 怜(安達道場)
 ●平成17年11月13日
 ●県総合運動公園メイシアター
 第16回県ジュニア選抜選手権大会

- ①武田 紗耶(鈴川小)
 ②五十峰 由美(鈴砥小)
 ③今田 杏果(豊田小)
 ④大滝 佳歩(大塚小)
 小学2年生女子
 ①園分 桃香(新庄小)
 ②宮川 裕生(若浜小)
 ③佐藤 綺南(鶴岡三小)
 ④飛鳥 有衣子(山形南小)
 小学3年生女子
 ①伊藤 希恵(日新小)
 ②金沢 奈苗(桜田小)
 ③井上 夕希(新庄小)
 ④加藤 あすか(上山南小)
 小学4年生女子
 ①佐々木 梢(沼田小)
 ②富樫 魅都理(朝陽四小)
 ③奥山 陽世理(天童南部小)
 ④渡部 友香(神町小)
 小学5年生女子
 ①榮 ちほり(長岡小)
 ②安孫子 沙希(南沼原小)
 ③橋本 愛香(北辰小)
 ④仙台 土才(本合海小)
 小学6年生女子
 ①坂上 愛堀(内小)
 ②国分 円香(新庄小)
 ③小林 穂葉(沼田小)
 ④海老名 裕美(新庄小)
 中学1年生女子
 ①佐々木 梓(明倫中)
 ②荒川 聡美(日新中)
 ③大滝 由佳(鶴岡五中)
 ④会田 優大(大附属中)
 中学2年生女子
 ①海藤 佳奈(新庄中)
 ②国井 結華(陵西中)
 ③高橋 歌穂(鶴岡一中)
 ④佐藤 桂綾(南中)
 小学1年生男子
 ①中村 時男(浜田小)
 ②齊藤 武比呂(朝陽小)
 ③大沼 奨也(寒河江中部小)
 ④野村 悠起(山大附属小)
 小学2年生男子
 ①岡田 翔平(酒田泉小)
 ②伊藤 大和(寒河江小)
 ③角田 康太(朝陽五小)

③山崎 稜平（山形九小）
 小学3年生男子
 ①斉藤 蓮（北辰小）
 ②飯塚 銀弥（酒田泉小）
 ③中島 寛斗（山形七小）
 ③斉藤 賢人（朝陽四小）
 小学4年生男子
 ①斉藤 一成（鶴岡二小）
 ②田沢 大志（新庄小）
 ③国井 健太郎（山形十小）
 ③石井 友喜（米沢南部小）

- ① 増川 亮輔（米沢北郡）
 - ② 海老名 貴行（新庄北郡）
 - ③ 伊藤 翔治（寒河江小）
 - ③ 木村 洗稀（米沢愛宕小）
 - 小学6年生男子
 - ① 渡部 恭平（神町小）
 - ② 田中 隆美（天童南郡小）
 - ③ 鈴木 誠二（南沼原小）
 - 小学1年生男子
 - ① 加藤 大貴（日新中）
 - ② 伊藤 雅人（舟形中）
 - ③ 大泉 泰成（日新中）
 - ③ 山田 秀武（明倫中）
 - 小学2年生男子
 - ① 本間 高郎（鶴岡五中）
 - ② 阿部 和人（鶴岡五中）
 - ③ 森 桂太（鶴岡五中）
 - ③ 淡谷 宗一郎（鶴岡五中）
 - 組手競技
 - 小学3年生女子
 - ① 星川 南（浜田小）
 - ② 井上 夕希（新庄小）
 - ③ 伊藤 希恵（日新小）
 - ③ 淡谷 千彩希（柴橋小）
 - 小学4年生女子
 - ① 小林 未侑（沼田小）
 - ② 武田 莉奈（鈴川小）
 - ③ 伊藤 千宏（左沢小）
 - ③ 般山 さつき（荒砥小）
 - 小学5年生女子
 - ① 仙台 土才（本合海小）
 - ② 渡辺 葵（朝陽一小）
 - ③ 仙台 ひかり（本合海小）
 - ③ 清野 じかり（本合海小）
 - 小学6年生女子
 - ① 国分 巴香（新庄小）
 - ② 坂上 穂（堀内小）
 - ③ 小林 愛（沼田小）
 - ③ 佐藤 榛香（朝陽三小）
 - 小学1年生女子
 - ① 佐々木 夏夏（山形三小）
 - ② 田中 優（大附属中）
 - ③ 村上 美空（白鷹西中）
 - ③ 荒川 聡美（日新中）
 - 小学2年生女子
 - ① 海藤 佳奈（新庄中）
 - ② 大場 美紀（日新中）

③芦野 智恵(日新中)
③庄司 夏末(明倫中)
小学3年生男子

①飯塚 銀弥(泉小)
②佐藤 和輝(南沼原小)
③佐藤 爽雄(遊佐小)
③小林 和喜(樺岡小)
小学4年生男子

①廣飯 正樹(朝陽二小)
②宮川 晃吾(浜小)
③元木 貴(本台海小)

- 小学5年生男子
 ①増川 亮輔（米沢北部小）
 ②小山 洋夢（山形七小）
 ③渡辺 和輝（上山東小）
 ③本間 敬太（鶴岡いつき小）
 小学6年生男子
 ①仙台 充功（本合海小）
 ②叶内 奨也（日新小）
 ③瀬野 大将（山形十小）
 ③板垣 雄太（宮内小）
 中学1年生男子
 ①大泉 泰士（日新小）
 ②伊藤 雅人（舟形小）
 ③土田 秀成（明倫中）
 ③豊田 隼士（山形二中）
 中学2年生男子
 ①小山 真澄（山形二中）
 ②天沼 功二（中山中）
 ③伊藤 真太郎（日新中）
 ③佐藤 瑞樹（酒田四中）
 中学3年生男子
 ①小野 晴貴（綾西中）
 ②遠藤 昌幸（酒田三中）
 ③五十嵐 健也（酒田三中）
 ③市村 真（山形一中）
 第60回国民体育大会
 平成17年10月23日～25日
 ◎岡山県JFE倉敷体育館
 少年女子形個人
 伊藤 渚（2回戦敗退）
 少年女子組手個人
 渋谷 紗希（1回戦敗退）
 少年男子組手個人
 渡辺 愛士（2回戦敗退）
 成年女子組手個人
 関東 里佳（2回戦敗退）
 成年女子形個人
 大場 奈津美（1回戦敗退）
 成年男子形個人
 柴田 拓也（予選敗退）
 成年男子組手軽量級
 高橋 吉将（1位入賞）
 成年男子組手中量級
 安達 善也（2回戦敗退）
 成年男子組手重量級
 山科 大介（2回戦敗退）
 成年男子組手団体
 山形県（1回戦敗退）

空手 あれこれ 談話 (九)

山形県空手道連盟会長

飛鳥宗一郎

武道の礼法

今回は、道場で多く用いる「礼」のお話です。正しい「礼」の訓練は、集中力を高め、行動に必要な筋肉を鍛えます。

古い諺(ことわざ)に『人と禽獣(けいじゆう)の別は礼にあり』(人間と鳥や獣の相違は、人間には礼があることだ)とあります。「礼」の表現は、国や民族によって異なり固有の文化です。『正しい姿勢』『好ましい振舞い』『合理的な動作』や、『心のこもった行動』『敬意をはらう』など規範化されたのが「礼」で、絶好のコミュニケーション手段です。

わが国には、古い時代から決まった礼儀作法があって、小笠原流がその代表格です。小笠原家は清和源氏の家系で、初代・長清(1162~1242年)は弓術と馬術に優れ、時の将軍・源頼朝に仕え「弓馬術礼法」を確立し、現在もその子孫・家元が存在します。

この礼法は武家中心でしたから、当然武道の場で尊重されました。今回は道場で多く用いる「礼」のお話として、(財)全日本空手道連盟が制定している礼法は、簡略形だがこれに近いものです。しかし、絶対



<立礼正面>

でありません。武道の種類や流派によって違うからです。日ごろは皆さんの先生が指導する礼方式を守り、これらは参考にして、良い人間関係や仲間との交流に役立ててください。

正しい「礼」の訓練は、集中力を高め、行動に必要な筋肉を鍛え、バランス感覚を調える効果が大きいのです。

1 座り方(正座)
立った足の爪先を閉じ、空手でいう「閉足立ち」が基で、これは東洋の思想です。西洋文化(特に練兵術)が導入されてから、足先開きが主流となったので、通常は「結び立ち」で結構です。次の順序によります。

イ 体全体の姿勢を調え、片足(通常左足)を少し引きながら、両足を屈し次第に体を沈める。

ウ 引いた方の膝が床につく。

エ 腰を押すような気持ちで、引いた膝を前膝の方に近づける。

オ 前膝が床近くに、両膝が揃ったら前膝も床につき、両足指を爪立てて座る。これを「跪座」という。

カ 「跪座」から上体の伸びを失わずに片方ずつ足をねかして床につけ、親指だけを重ね「正座」となる。臀部と両足は紙二重あける気持ちで、大腿筋と臀筋で上体を支える。上体は心持ち前傾させ、重心を中央に維持する。両手は腿の付け根前方に置き、両肘が開かないよう添える。

座り方

ア



イ



ウ



立ち方

2-ア



2-イ



2-ウ



座 礼

4-①



4-②



4-③



拓手礼

折手礼

指健礼

2 立ち方 (正座から起立)

当然1の「座り方」と逆になります。

ア 正座の姿勢を整え、腰をわずかに浮かして片足爪立ちになり、続いてもう一方も爪立ちし、「跪座」になる。

イ 次第に腰を浮かすとともに、片足(通常左足)を踏み出す。踏み出す位置は、膝より前に出ない。

ウ 後足を保ち、踏み出した足の踵は着地しないまま次第に腰を伸ばす。重心を両足の真ん中に置く気持ちで、膝は腿の付け根より下に位置するよう注意。

3 「立礼」 (立った姿勢でお辞儀)

工 踏み出した足の踵を床に近付ける。
才 後足を前に運び、両足が揃ったところで両踵を床につける。

「立礼」の方法は次の二種類です。ちなみに、和道流基本相手で行なう相手から目を離さない浅い「礼」は、「目礼」といって正規の「礼」には含まれません。「礼」は心の響きが大切で、相手に誠の心を伝えることです。

① 普通の礼

両手を体側の斜め前方に置き、頭部と背筋を正しく保った姿勢から、上体を40度ぐらいに屈し、両手の平を体に添うように太腿の上に置く。頭が前方に落ち込まないよう注意する。この時、吸う息で屈し、吐く息で静止し、次の吸う息で起こして元に戻る。目と顔は一体に、上目使いや下目になるのは禁物。体を起こすとき、相手との繋がりが切れないよう丁寧に行ない、相手が視線に入ってから結びが大切です。呼吸の使い方や、結びの状況は全て共通事項です。

② 深い礼(最敬礼)

①よりも更に上体を屈します。両手指先が膝頭に接する。首だけでなく背部が崩れないよう注意する。神前・仏前への礼拝や、目上の人に対する挨拶、練習の始まりと終わりなど必ずこの「礼」です。

力(正面)



力



才



工



立礼

3-1



3-2



2-才



2-工



4-⑤



合手礼

4-④



双手礼

<座礼正面>



4 座礼(正座から礼)
「座礼」は「立礼」と違って多くの種類があります。わが国の生活習慣と儀礼は、床や畳の場が多かったためです。両手は同時に動作するのが正規です。片手着手のまま「礼」を行うのは、戦陣で急な報告

のときだけ許されました。片手を先に、次いでもう一方の手をつく「礼」(右手温存)は、隙を見せない備えとされるが、「礼」はそもそも隙だらけなのです。

上体を屈する角度の高い方から、五種類の「礼」です。

① 指建礼

上体を15度ぐらい屈し、手は体に添うよう自然に移行して伸び、大腿側面に指先が床に接する。

② 折手礼

指建礼から屈体し40度ぐらいのとき、膝脇に掌(手の平)全体が床につく。

③ 拓手礼

更に屈体したとき、両手は体の中央に向かいやや進み、両手の間は少し開いている。

④ 双手礼

更に屈体し、両手は体の中央に進み揃う。首が落ちないよう上体を保持する。

⑤ 合手礼

更に屈体すると体は腿に接し、下腕は肘から全体が床に接し、顔は鼻先が親指近くまで下がります。腰を浮かさない、両腕に体重を掛けないこと。

⑥ 正座に戻る

それぞれ、「礼」が終われば正座に戻る。

指定形講習会 及び 公認段審査会

講師に矢澤敏彦先生を招き第二指定形「エンピ」、「カンクーシヨウ」を学ぶ

とき／平成17年12月18日(日)
場所／山形市総合スポーツセンター

平成18年度から形試合において、第二指定形が採用される予定であることから、普及部では、これまで一般会員を対象として「第二指定形講習会」を開催してきましたが、平成17年度は、群馬県空手道連盟副理事長・社・日本空手協会群馬県本部長である矢澤敏彦先生をお招きし実施しました。

矢澤講師は、8月27日(土)～28日(日)に山形市の県体育館で実施した「山形県(山形市)地方青少年体道錬成大会」に講師としてご指導をいただいた方で、教士七段、(財)全日本空手道連盟と級資格審査委員(財)日本体育協会B級コーチを有されております。

受講者は、小学生36名、中学生30名、高校生6名、一般38名、計110名の参加がありました。会場となった剣道場は受講生でいっぱいとなり、熱気溢れる中で全員真剣に受講されました。矢澤先生の指導方法は非常に分かりやすく、立ち方受け方、拳の位置、足の運び方など各般に渡って親切かつ適切に指導いただき、受講生にとって大変有益な講習会であり、矢澤先生並びに参加者の方々に心からお礼申し上げます。

また、春季公認段位審査会は、4月24日(日)に山形市総合スポーツセンターにおいて、秋季公認段位審査会は、12月4日(日)、山形県総合運動公園

平成17年度 公認段位審査会合格者

参段合格者

高校・一般の部
遠田めぐみ (至道館)
酒井原雄大 (崇武館)
山田 哲也 (崇武館)
日下部隆一 (崇武館)
中山 裕樹 (崇武館)
片倉 徹 (国際松清館)
佐藤 和典 (国際松清館)
松田富士雄 (国際松清館)

式段合格者

少年の部
阿部 和人 (荘内空心会)
渋谷宗一郎 (荘内空心会)
水口 歩子 (荘内空心会)
浅野 允玲 (荘内空心会)
高校・一般の部
平 雄兵 (崇武館)
佐藤 萌 (崇武館寒河江支部)
那須 誉 (崇武館)

初段合格者

少年の部
東海林亜季 (荘内空心会)
高橋 俊平 (荘内空心会)
森 圭太 (荘内空心会)
荒川 雅哉 (崇武館新庄支部)
杉山 昂 (崇武館新庄支部)
本間 一磨 (荘内空心会)
高校・一般の部
鈴木 幸恵 (南陽高校)
平 和文 (南陽高校)
飯澤 弥生 (南陽高校)
駒形 雅利 (南陽高校)
伊藤 渚 (崇武館新庄支部)
東海林辰爵 (天童高校)
森谷 大貴 (天童高校)
佐藤 綾 (天童高校)
中村 仁 (天童高校)

県立霞城学園高校で「護身術を学ぼう」開催！
飛鳥宗郎氏が座学・実技指導



県立霞城学園高校定時制課程Ⅱ部(夜間)では、各高等学校で実践されている「総合的な学習の時間」において、空手道を取り入れた「護身術を学ぼう」というテーマの学習が実施されました。本連盟理事である山村伸行さんが本校の教員であることから企画し、上司に進言し実現の運びとなったとのこと。

テーマのねらいは、自分の

身は自分で守ることが必要な時代であり、護身術を実践的に学ぶことによって技術のみならず精神的な強さを養うというものです。

期日は、10月28日(金)、11月14日(月)の2日間(何れも午後5時40分から午後8時まで)で、講師は飛鳥宗一郎県連盟会長(全空連教士8段)です。授業の内容は、座学(空手道の歴史、技法の特徴、効用、特徴等)と実技(護身術の基礎編、応用編)それにレポート提出です。

受講生は30名、内女性5名で、10代が圧倒的に多かったが、中には60代の男性もあり、大半の受講生は空手道を見たこともなく、飛鳥講師の教えに目を凝らして講話に耳を傾け、実技指導に驚嘆の声を上げながら一生懸命にやっていた姿には感心させられました。

高校における「総合的な学習の時間」は文部科学省の肝いりで始まったものですが、空手道を取り入れている高校は少ないものと思われまます。霞城学園高校での試みが契機となつて今後多くの高校でも実践される事を願っております。



祝

源武館が「文部科学大臣表彰」を受賞！

源武館空手道場(館長 工藤源七氏)が平成17年度生涯スポーツ優良団体に選ばれ、文部科学大臣表彰を受賞しました。

この表彰は各都道府県教育委員会などの選考を経て推薦された生涯スポーツ功労者と生涯スポーツ優良団体を表彰するもので、今年は百五十四人、百三十団体に表彰状と記念品が贈られました。

源武館は、空手道を通して地域青少年の体力向上と健全育成、スポーツ少年団活動、地域内公園美化運動などスポーツを通して地域へ大きく貢献しています。今回の受賞は、空手道では平成14年に飛鳥宗一郎県連盟会長が個人で受賞されて以来二度目の受賞となります。心よりお喜び申し上げます。



→永年の活動が認められ喜びの工藤源七館長

平成18年度

山形県空手道連盟 総会開催！

とき／平成18年2月5日(日)
ところ／山形県スポーツ会館



また平成18年度事業計画について工藤理事長、各専門部より発表がありました。

県連の大きな事業としては、2月26日に、ジュニア強化の一貫として、第二回樹氷杯ジュニア空手道選手権大会が県連主催で開催される。

同じく18年度からは、第二指定形が正式に施行される。これがどのような形で落とし込まれるかは未定であるが、国体・全日本、東北総体、また県の国体予選にも影響すると思われるので強化が必要となる。

専門部事業計画は以下の通りです。

●普及部 部長・斎藤知行

県連の平成17年度事業報告と新年度の活動内容を審議する総会が開催され、県内より理事43名が参加し活発な意見が交わされました。

総会では、工藤理事長の総括に続き、平成17年度の事業報告と決算報告が行われ内容については異議なく承認されました。また18年度は、役員改選期にあたり副理事長以上は留任。常任理事として新しい役員が任命されました。

●強化部 部長・安達剛

強化部からは一般大学・高校の強化事業計画とジュニア強化事業計画のスケジュールが発表。また3月25日・26日の両日、講師を招き「組手講習会」が開催される。

●競技部 部長・深瀬久男

議題として以下の提案事項がありました。

1、県審判員のランク付け導入について(県公認のみ)

現在大会運営上、県審判員も主審、監査を行わないと大会運営ができない状況にある。しかし新ルールに伴い審判技術が低い審判員も見受けられ、大会運営上問題となっている。そこで県公認審判員の技術向上と積極的な講習会参加をはかるため、ランク付け制度を導入し、毎年審判講習会でランク付けを行い取得ランクに基づき大会における審判の役割を決める。

①4月審判講習会より県審判員のランク付けを行う。
※4月23日(日)

山形市スポーツセンター

②ランク付けを受審できなかった審判員については、前年度の大会及び講習会の参加状況を検討し、競技部長がランク付けを行う。

●新しく加盟団体として承認されました。

鶴岡五中空手道スポーツ少年団「拳」 代表・佐藤志

※全空連公認拳サポーター

①ニューメンホー用 白

②ニューメンホー用 赤青

③赤青リバーシブルタイプ

昨年、各大会において拳サポーター着用で、参加者が戸惑うことが多々ありましたので明確にします。

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

2、大会に使用する拳サポーターについて

大会名	着用サポーター
■県社会人選手権大会	全空連公認のニューメンホー用
■県ジュニア選手権大会	全空連公認、または全国高体連公認
■県ジュニア選抜選手権大会	全空連公認のニューメンホー用
■県空手道選手権大会	全国高体連公認
■全国中学校大会	全国中学校指定

速報！ 第一回 樹氷杯 ジュニア空手道選手権大会 開催

平成18年2月25日(日)／山形県総合運動公園総合体育館

毎年3月に開催される、全国少年少女空手道選手権大会、並びに全国中学空手道選手権大会を勘案し、ジュニア強化の一貫として山形県空手道連盟が主催する「第一回 樹氷杯ジュニア空手道選手権大会」が約250名の選手が参加して開催されました。遠くは熊本県から、また東北六県及び隣接する各県から大勢の選手団、審判員の先生方をお迎えいたしました。平成18年度シーズンに向けて、参加した選手にとって自己分析や調整など、本大会を通じて新たな課題発見の機会となりました。





平成18年度事業・行事計画

日 程	事 業・行 事	場 所
1 / 27 (金)	県連会計監査	県あこや会館
2 / 5 (日)	平成18年度県空手道連盟総会	県スポーツ会館大会議室
2 / 18 (土)	東北地区協議会代表者会議	チサンホテル仙台
2 / 19 (日)	東北地区指導者技術講習会	仙台市青葉区体育館
2 / 26 (日)	樹氷杯ジュニア空手道選手権大会(第1回)	県総合運動公園アリーナ
3 / 18 (土)	公認4・5段審査会及び公認地区組手審判審査会	仙台市武道館
～19 (日)	公認地区形審判審査会並びに地区審判員技術講習会	
3 / 25 (土)	全国高校選抜大会	愛媛県武道館
～27 (月)		
4 / 8 (土)	全国形審判員講習会(午前中のみ)・全国組手審判員講習会	東京都郵政体育館
～9 (日)		
4 / 23 (日)	第5回東北学生個人選手権大会	大河原町総合体育館
4 / 23 (日)	審判員協議会総会・県審判員講習会	山形市スポーツセンター
5 / 7 (日)	村山地区高校総体	東海大学山形高校
5 / 14 (日)	第35回社会人大会	県武道館
5 / 14 (日)	公認段位審査会(初段～三段)社会人大会終了後	県武道館
5 / 14 (日)	第8回東北中学校選手権大会	宮城県武道館又大河原体育館
5 / 28 (日)	山形市大会	山形市スポーツセンター
6 / 3 (土)	県高校総体	山形市スポーツセンター
6 / 4 (日)	全国中学生選手権大会山形県予選会	県総合運動公園剣道場
6 / 25 (日)	東北大学総体	弘前大学
6 / 23 (金)	東北高校総体	にかほ市象潟体育館
～25 (日)		
7 / 2 (日)	第24回県ジュニア選手権大会	天童市スポーツセンター
7 / 16 (日)	国体・東北総体県予選会	県総合運動公園サブ体育館
8 / 5 (土)	全日本少年武道錬成会	日本武道館
8 / 6 (日)	全国高校総体	東大阪アリーナ
～9 (水)		

日 程	事 業・行 事	場 所
8 / 19 (土)	第14回全国中学生空手道選手権大会	京都市
～20 (日)		
8 / 25 (金)	第33回東北総合大会	宮城県名取市体育館
～27 (日)		
9 / 2 (土)	日本体育協会公認指導員義務講習会	仙台市武道館
9 / 9 (土)	村山地区高校新人戦	天童高校
9 / 9 (土)	1・2級資格審査員研修会	批杷島スポーツセンター
9 / 10 (日)	公認コーチ・上級コーチ義務講習会	
9 / 15 (金)	第2回全日本障害者空手道競技大会	広島市中区スポーツセンター
9 / 17 (日)	第39回県空手道選手権大会	鶴岡市武道館
9 / 16 (土)	日本マスターズ空手道競技会(第7回)	広島市中区スポーツセンター
～18 (月)		
10 / 1 (日)	第14回県少年少女交流大会	天童高校
10 / 1 (日)	第61回国民体育大会	兵庫県豊岡市
～3 (火)		
10 / 9 (月)	第5回東北大学選手権大会・新人戦	宮城県武道館
11 / 5 (日)	県高校総体新人戦	県総合運動公園
11 / 12 (日)	第17回県ジュニア選抜選手権大会	南陽市民体育館
11 / 18 (土)	公認6段審査会	大阪府立体育館
～19 (日)	公認7段審査会	
12 / 3 (日)	県連審判講習会・公認段位審査会(初～三段)	県総合運動公園柔道場
12 / 3 (日)	第34回全日本空手道選手権大会	日本武道館
1 / 19 (金)	東北高校選抜大会	青森市民体育館
～21 (日)		
1 / ()	全日本少年少女選手権大会山形県予選会	
2 / 25 (日)	樹氷杯ジュニア空手道選手権大会(第2回)	県総合運動公園アリーナ